

● 顕現後第一主日

# 泉のほとり

今月の詩編「第五十二編」

方ある者と、なぜ悪事を誇るのか。

神の慈しみの絶えることはないが

お前の考えることは破滅をもたらす。

舌は刃物のように鋭く、人を欺く。



## 主イエスの洗礼

主イエスが救い主としての働きを始めたのは、およそ三〇歳のころだったと聖書は書いています。それまではナザレの村人の一人として、他の人と全く同じ生活をおられたのです。その主を救い主の働きへと呼び出したのは、洗礼者ヨハネの出現です。彼はヨルダン川で人々に、悔い改めの洗礼を授けたのです。

ヨハネはらくだの毛ごろもを着て、腰に皮の帯を締めていました。これは旧約聖書が伝える預言者エリヤと同じ服装です。そして旧約の最後の文書であるマラキ書は、主の裁きの日が来る前に、神さまはエリヤを遣わされると書いています。人々がヨハネのもとに集まったのは、この聖書の預言を知っていたためです。

ヨハネの洗礼は、人々の全身を水の中に漬け、それから引き上げます。一度死んで、新しい自分として生きるしるしです。でもそのときヨハネに質問をする人たちがいました。新しく生きるために、どうしたらよいか、と尋ねたのです。ヨハネは、下着を二枚持っている人は、持っていない人に分けるように。徴税人は決められた額を取り立て、兵士は自分の給料で満足するようにと教えました。

これは当り前のことです。律法が教えることは、当り前のことです。でもそれを当り前に生かすのは、難しいのです。なぜなら、徴税人が規定以上の取り立てをするのは当り前で、兵士

が武器で人を脅して金を巻き上げるのが、当り前だったからです。規定だけの取り立てをする徴税人とか、給料で満足する兵士は、他の仲間からいじめられたり、仲間外れになったのです。でもそれでもあなたがたは正しい生活をしなさい、とヨハネは教えたのです。

人びとはヨハネを救い主ではないかと考えました。でも彼は自分が救い主ではないと明言しました。自分の後から来られる方は、自分がその靴の紐を解く値打ちもないほどに尊い方で、その方が救い主だと言ったのです。

ヨハネが救い主でないのは、彼の働きは人を救うには不十分だからです。彼は人々に正しいことを教えました。律法は正しいことを教えます。でもそれを実行する力は与えないのです。

それを与えるのは、主イエスの福音です。そのため主は、人々と同じヨルダン川に身を浸して、洗礼をお受けになりました。罪の赦しを願って洗礼を受けた人々と結びつくためです。そして主は、もう一つの洗礼である十字架の死へと歩み始められました。この主の真実の愛が、神さまの御心に従う力を与えるのです。ですから、まだ洗礼を受けていない人は洗礼を受けましょう。すでに受けた人は、わたしたちがよい実を結ぶために洗礼を受けたことを、もう一度思い起こしましょう。

## 正しい場処を求めなさい

いまやあなたたちはキリストとともに甦ったのだから、高みのものを、神の右の座に坐してキリストのいますかの処を求めなさい。

コロサイ人への手紙三章一節

父と、  
子と、

聖霊の名において

その手紙は

その最後の読み手に向けられている、  
この私にも向けられている。

あなたの霊とともに

あなたの内にいて

私の内に祈る、

あなたが来たのは、

失われた者たちが

矢われ続けることがないように。

祈りの内にあなたは私を見いだす、

私があるあなたを見いだすように。

祈ること―何という幸い、  
至福なる「私」の死―  
「我ら」というキリストの体の内に  
王のように甦ること。

よく考えてみなさい、それこそがキリスト  
を真にして聖なる仕方だと思えがくことと。

我々は直ちに天に引き上げられ、そこで彼  
を崇め、我々が感ずる心の絶てをもつて彼  
のもとに留まることになる。

コロサイ人への手紙三章一節へのカルヴァ  
ンの言葉

R・ボレン著 「祈る」より

## 今日のお知らせ

○第一礼拝後、ロビーでのコーヒーサービスと、團  
舎二階リズム室では、「ぶどうの会」が開かれま  
す。

○第二礼拝は成人式礼拝です。群れの中で成人を迎  
えた人たちのお祝いをします。

○第二礼拝後、ホールで成人を迎えた人たちを歓迎  
する会をします。その後、今年最初の愛餐会です。

今日のメニューは、五目おこわ、特製ソースの蒸  
し鶏、煮卵添え、野菜の炊き合わせ、紅白蕪のサ  
ラダ、お祝いすまし汁、果物です。ご期待くださ  
い。

○今日午後二時から、一月の役員会をカナルルーム  
で行います。役員はご参加ください。

○今週二五日(火)午後三時から日本キリスト合同  
教会委員会が品川教会でおこなわれます。委員は  
ご出席ください。

○今週一八日(金)朝一〇時半から、シオンの会が  
あります。雪ノ下カテキズムの間八から一四を学  
びます。新しい人を歓迎します。

○四月二二日のイースター礼拝で、受洗・転入会を  
ご希望の方は、入信記を書いて、一月二七日まで  
に、牧師あてご提出ください。

## 四国使り

初めてお訪ねする教会の少し手前で私を待っておられたのか一人の女性が「先生！」と走り寄ってすぐに「お疲れ様でございました」と荷物を受け取って下さいました。この時、私は「この人は主からの特別訓練を受けて磨かれています」とうれしく思いましたが、私達はすぐに御霊の一致を感じ喜びました。三人の女性牧師と同室でしたがここにも主のご配慮による御霊の一致に私達は初めて会っているにもかかわらず心が平安と喜びに満たされた六日間でした。男性の牧師先生達もとても謙遜で信仰の熱い人達でした。朝六時から早天祈祷会に始まりお食事後には研修会やナイトセルの見学ミツションセルリーダーの見学、ラビングケアグループの見学会、重要な学びはT先生のご指導による研修会・近隣の教会を訪問・メントリング子育てセミナーの研修（私はこの学びでこれまで心に一つだけ有る疑問の部分の謎が見事に解けた事は驚きであり、主の聖名を喜び讃えました。

毎 日T先生と籍の楽しいランチタイムの談笑の中にも私達は大切なことを学んでおりました。「聖戦をふれよ、勇士たちよ立て」この賛美をしている間に私を第二テモテ一章三〜四節と十五節の御言葉で召命をかけて下さった主を思い起こし敬かな気持ちの覚悟と信仰が与えられました。

帰りの日に私達の宿舎エレベーターの無い三階にT先生が来られ「田端先生の荷物には私が一階まで運びます」とのお言葉には恐れ多くて、階段がありますのでゆっくり運んでゆきますと申し上げたときはもうT先生のお姿は見えませんでした。「ヨシユアの如く生きん」この一冊の本がアガペーの愛を實踐し、活動しておられる神の教会へと導いて下さり尊い学びを豊かに与えて下さいました。私の教会観を根本的に見直さなければと主にお誓いしました。主の聖名を喜び讃えます。

二〇一八年十二月十八日

シオン・フルゴスベルチャーチ

田 端良恵

## 聖書の会へどうぞ

1月16日(水)

●朝の聖書の会(10時)

「洗礼者ヨハネ」

マルコ一章1節〜8節

菊池 美穂子 副牧師

●聖書の夕べ(19時)

「罪を取り除く神の子羊」

ヨハネ一章19節〜34節

黄允澁 副牧師

## 次週礼拝

●第一礼拝(午前9時30分)

讚美歌 今日もまた新しく 121番

説教「この人はヨセフの子ではないか」

聖書 ルカ4章16〜30節

説教者 黄允澁 副牧師

●第二礼拝(午前11時10分)

讚美歌 2番 333番

詩篇 52篇

説教「言ひ訳のできない人の罪」

聖書 ローマ3章9〜20節

説教者 吉村和雄 牧師



## 第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 今日もまた新しく

121番

説教 「私から離れてください」

聖書 ルカ5章1節～11節(新約P109)

司式 石川一兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄允澁 副牧師

前奏曲「我らキリスト者たち、今ぞ喜びて」 J.S.バッハ

○「今日もまた新しく」 聖公会讃歌16番

1. 今日もまた新しく 鳥 歌い 喜ぶ  
み言葉に生かされて たたえよう この日を
2. 草木にも 恵み満ち 雨露の 輝き  
神の園 しのぼせる たたえよう この日を
3. ひとすじの 光より 生まれでる この朝  
声高く ほめ歌え み手による この朝

アーメン

○ヴィオラによる讃美  
「あなたの声に私の心は開く」 C.サマサンス

○讃美歌 121番

1. 馬槽のなかに うぶごえあげ  
木匠の家に ひととなりて  
貧しきうれしい 生くるなやみ  
つぶさになめし この人を見よ
2. 食するひまも うちわすれて  
しいたげられし ひとをたずね  
友なきものの 友となりて  
こころくだきし この人を見よ
3. すべてのものを あたえしすえ  
死のほかなにも むくいられで  
十字架のうえに あげられつつ  
敵をゆるしし この人を見よ
4. この人を見よ この人にぞ  
こよなき愛は あらわれたる  
この人を見よ この人こそ  
人となりたる 活ける神なれ アーメン ↗

## 第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 411番 85番

詩篇 第52編(旧約P886)

説教 「人の不誠実と神の誠実」

聖書 ローマ3章1節～8節(新約P276)

司式 石川一兄

説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「我らキリスト者たち、今ぞ喜びて」 J.S.バッハ

○讃美歌 411番

○ヴィオラによる讃美  
「あなたの声に私の心は開く」 C.サマサンス

○聖歌隊による讃美  
「主の道へ」 編：B.J.リー  
主の道へ 主の道へ 共に我ら進もう  
主イエスは今 待っておられる  
主の道へ共に進もう  
主の命じられるまま どこまでも行こう  
主に従い歩もう 悲しみも 苦しきも  
主イエスは皆 知っておられる  
共に主の道を行こう  
主イエスは今 生きておられる  
主の愛と命を受けよう  
主のくださる全てを 喜びうけよう  
主に従い歩もう  
力あふれ 輝き満ち  
主の道へ 主の道へ 共に我ら進もう  
主の道へ 主の道へ 輝く 主の道へゆこう

○讃美歌 85番

聖餐曲「主キリスト、神のひとり子」 J.P.スカムリン

後奏曲「フーガ」 D.7 ヴァグナー

聖餐曲「ファンタジー ハ短調」 G.P.バートン

後奏曲「フーガ」 D.7 ヴァグナー